

全国登山者集会実施要綱

2007年5月28日
日本勤労者山岳連盟

全国の登山会員の皆さん！私たちが仲間のために作り上げた登山遭難対策基金が存続の危機です。登山遭難基金は仲間のさまざまな遭難事故への救済に大きな役割を30余年も果たして来ました。又、安全対策基金は、雪崩講習会や救助隊の育成など事故防止の教育に貢献してきました。

しかし、新保険業法は登山遭難基金ではなく「金儲けの保険業」をやれと言っています。こんな無理難題を許さず、会員の助け合いである登山遭難基金を断固守るため、全国の仲間の力をこの集会に結集しましょう。

記

期日 2007年6月15日（金）午後2時開会

会場 都立青山公園（南地区・多目的広場）
東京都港区六本木7-23

名称 登山遭難基金を守る全国登山者決起集会（略称 全国登山者集会）
—登山遭難基金と自主共済の適用除外を求める登山者集会—

内容 全国登山者集会と国会請願デモ

規模 500名（雨天決行）

請願コース（予定）

青山公園→六本木通り（六本木交差点→アークヒルズ→溜池交差点）→
金融庁→国会議事堂→流れ解散（午後5時までに終了予定）

集会の性格 国会において超党派による新保険業法の適用除外を求める議員立法の
国会上程に大きな前進を開くことを最も重要な目的としています。各団
体・参加者の持参する独自のゼッケン等のスローガンはこの目的に限定し、
憲法や平和、教育や消費税問題など、他の政治スローガンを掲げることは
厳に慎んでください。参考までに、スローガンを例示します。

「登山者一揆！」「登山遭難基金の適用除外を！」「山の遭難共済を守
れ！」「遭難基金は、山仲間の命！」「山岳共済は山屋の命！」「山岳共

済は山屋の絆！」「労山遭対基金をつぶすな！」「山岳共済つぶしをゆるさない！」「労山遭対基金を保険業にするな！」「山岳共済を金儲けの保険にするな！」「山岳共済つぶしは、登山文化つぶし！」「国は登山文化を守れ！」

参加スタイル 登山者の怒りを国会・金融庁に示し、マスコミを通じて日本全国に訴えるという行動にふさわしい「登山者の一揆」にふさわしいスタイルで参加してください。当日は、テレビ・新聞などの取材が予定されています。具体的には、各人の通常の山行行動スタイル。リュックは最大級（中身の容量は、できるだけ「0」に近い容量）。ヘルメット、カラビナなどの登攀用具、ザイルやハイキング用具。地方連盟は、それぞれの連盟旗。

地方参加者 6月14日（木）・15日（金）の両日とも労山事務所での宿泊が出来ますので、事前に連絡の上、寝袋等をご持参ください。尚、両日とも交流会を予定しています。地酒持参歓迎。
地方からの参加者の荷物を労山事務所でお預かりいたしますので、ご利用の方は、ご連絡ください。

車で参加 地方の方で自家用車で参加は必ず事前に全国連盟に連絡をください。

交通機関 東京メトロ 千代田線 乃木坂駅下車（出口5番） 徒歩3分
※東京駅から、東京メトロ千代田線大手町駅まで、連絡通路徒歩10分。
※渋谷駅から、東京メトロ銀座線表参道駅乗換え千代田線1駅。

